

家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身に付け、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにもとても大切なものです。

小学生のうちに机に向かう習慣が、後々学力に大きな影響を与えます。小学校低学年のうちに身に付けさせましょう。

1 家庭学習のさせ方

- (1) 担任から出る「宿題」を最初にさせてください。
- (2) 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせてください。
(5・6年生には自分で考えさせてもいいでしょう。)
- (3) どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書などにより必ず机に向かわせてください。「決まった場所で、机に向かう」という習慣が大事です。
- (4) 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

2 時間のめやす

家庭学習の時間のめやすは、10分×学年+10分以上です。

- 低学年は、20分から30分以上
- 中学年は、40分から50分以上
- 高学年は、1時間以上

3 家庭学習における保護者の役割

- (1) 学習に適した筆記具の選択
学習に使いやすい、しっかりとしたものを選んでください。

○きれいに削った鉛筆（2B, Bの書きやすいもの）	4本～5本
○消しゴム（よく消えるもの）	1個
○赤鉛筆（5, 6年生は赤のボールペンでもよい）	1本
○直定規（15cmくらいの透明なもの）	1つ
○名前ペン	1本
○無地の下敷き	1枚
- (2) 学習時間の確保
短時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、よく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。
- (3) 学ぶための環境づくり
テレビを見ながらやスマホを操作しながらなどの「ながら勉強」は、効果は上がりません。テレビやスマホは消し、お子さんが落ち着いた環境で学習できるよ

うに、話し合ってください。

特に、スマホ等のネット使用については、家庭で決まりをつくり、約束を守った生活をさせてください。

- (4) 見届けや励まし
子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけ、ほめたり、励ましたりすることで、お子さんはどんどんやる気を出します。
- (5) 学校との連携
お子さんの様子を把握しながら、学校と同じ方向で取り組んでくださるようお願いいたします。お子さんの学習の様子で気になることがあれば、担任にお知らせください。
- (6) タブレット端末の持ち帰り
タブレット端末を家に持ち帰っている場合は、裏面の「タブレット活用ルール」に従って、「使用時間を守る」・「不適切なサイトにアクセスしない」などのタブレット活用ルールを守らせてください。

4 鉛筆の正しい持ち方

鉛筆の持ち方と姿勢というのは密接に関係しています。間違った持ち方をしていると次第に姿勢も崩れてきます。悪い姿勢で書くと指や手、腕、肩、首、目など様々な箇所がとても疲れやすい状態になります。その結果、勉強や仕事に集中することができないという事態を招くことになってしまいます。さらに視力の低下や背骨のゆがみなど、深刻な症状を引き起こす原因になることも考えられます。



<右利きの場合>

5 宿題や提出物の期限の厳守

時間や提出期限を守ることは、学校生活はもちろんのこと社会生活においても大変大切なことです。お子さんが連絡帳を見て、宿題や提出物を期限内に出す習慣を身に付けさせてください。早めに取りかかり、毎日少しずつ無理なく進めることで余裕が生まれます。